

2016年4月17日 主日礼拝

司 会 ①篠遠兄 ②宮川兄 ③鷲沢兄

奏 楽

祈 禱 ①石橋兄 ②多田兄

賛 美 聖歌502番「わが主はまことの牧者にませば」
(聖霊様あなたを求めます)(栄光から栄光へと私を変えて)

ヤベツの祈り

聖 書 ① イザヤ書44章1～15節 (P1005)
②③ ローマ人への手紙8章28～30節 (P243)

音 楽 ① 坪井永城師
②③ 岸義紘先生

証 詞 ① 菅原与主愛兄(青年会)

メッセージ ① 「ヤコブの名前は」 佐々木智行伝道師
②③「逆転は人生に何度でも」 岸義紘先生

賛 美 聖歌476番「安けさは川の如く」(献金・熊本のため)
(It is well with my soul)

頌 栄 「シャローム・シャローム」アーメン

祝 禱 大川従道牧師

「神は、神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って
召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにして
下さることを、わたしたちは知っている。」(ローマ八の二十八)

【大和ニュース】

- * 本日、世界的巡回伝道者岸義紘先生ご夫妻をお迎えできて感謝です。
- ・ 転入会おめでとうございます！ 緑川由紀子姉(ドルカス会)。
- ・ 本日、入門講座Ⅲ、手話、送迎駐車場奉仕会、SS 教師、J.PLUS 等あり。
- * 東京カルバリーは、ハイアットホテル。5時礼拝。「白鳳」。説教と独奏は岸先生。
- ・ 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は倉知副牧師。
(婦人リーダー会は来週の木曜に延期です、午後1時から。)
- ・ 準備祈禱会は、金曜夜9～10時半。説教は梅津義道補教師。
- ・ SSピクニックは、土曜日。「こどもの国」へ。プリント参照。
- * ご結婚おめでとうございます！長谷川諒様と小野寺真理様。
- * 告別式お知らせ！浅井利恵姉は火曜14:15。相澤佳子姉は木曜14時。当チャペル。

石の枕

説教のことを考えない日はない。大和で語らなくても、東京でのメッセージがある。そんな日々を一年過ごした。ハ・ヨンジョ師が休暇中、「説教をすればもっと幸せになる」と言われたが、私もその類である。神学校を卒業して、53年間、休むことをせずに、走り続けた。しごく満足、楽しかった。

説教がなくても、牧会がある。冠婚葬祭と四文字では終わらないあらゆる人間の営みへの配慮がある。その重荷を担うのが牧師の聖務だが、人間の努力で果たせる世界ではない。心筋梗塞と狭心症と不整脈とマラリア等を患っている内にステント4本を入れ、毎日お薬を5つ飲む人間になった。新約(薬)と旧約(薬)を加えれば、7つになる。まさに「鉄の男」。ステントは牧師の勲章だ？！

東京神学大学の学長の芳賀力著『落ち穂ひろいの旅支度』を読み、自らの教養の低さにつぶされかかったが、多くの恵みを得た。(以下一部紹介)

ソクラテスに先立つ二百年前、ユダヤの地には、エレミヤと呼ばれる風変わりな人物が現れた。他の預言者たちが偽りの平安をもって慰める中で、エレミヤは裁きを告げ、悔い改めを求める。人々は憤り、エレミヤを捕え、丸天井のある地下牢に長期間閉じこめる。役人は訴える。「どうか、この男を死刑にしてください。あのようなことを言いふらして、この都に残った兵士と群衆の士気を挫いています」(エレミヤ38の4)。ついには水溜につり下げられ、泥の中に沈められる。辛うじて生き残り、エジプトに連行されて生涯を終えた。

「もしわたしが、『主のことは、重ねて言わない、このうえその名によって語る事はしない』と言え、主の言葉がわたしの心にあって、燃える火のわが骨のうちに閉じこめられているようで、それを押えるのに疲れはてて、耐えることができません」(エレミヤ20の9)。これが預言者的実存である。根源的な言葉は外から来て、内に燃える。だからそれを語り出すほかはない。そしてこの預言者的知性の伝統の中に、やがて預言者にまさる存在が現れる。「メシアと呼ばれるイエス」(マタイ1の16)。預言者にまさるといのは、存在それ自体が根源的な言葉だからである

☆私大川は、若い頃、エレミヤやイザヤに憧れ、殉教覚悟で伝道戦線に出たのに、いつの間にか、ヤワ男になってしまった。なげなく涙が止まらない。どうか、主からの使命を完うできるように、「私のために神に祈ってほしい」(ロマ15の30)。キリエ、エレイソン！主よ、憐れみたまえ！

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:ルカ16章～19章 Bコース:サムエル記上22章～サムエル記下9章